

2021年10月25日

第15回 若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会

公益社団法人 砂防学会 事業部会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して、より解像度の高い地形計測、より計算精度の高い河床変動計算、家屋や道路考慮した詳細な土砂氾濫計算、流域スケールの土砂動態モデルなどが開発され、検討の幅が広がり、より高度な砂防事業が展開できるようになってきました。しかし、これらの技術の適切な活用は、現地の状況や問題を見る目を養ってはじめて実行できます。そこで、砂防学会では、山地流域における土砂動態やそのモニタリング、または多種多様な砂防施設の機能と問題点などに関する現地研修会を企画しました。

なお新型コロナウイルス感染症への対応として、今年度は参加者を20名程度とします。

主催：(公社)砂防学会

協力：京都大学 防災研究所 附属流域災害研究センター 穂高砂防観測所

国土交通省北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所

開催日時：2021年11月17日(水) 9:00～16:00

場所：中尾公民館、高原川流域(岐阜県高山市奥飛騨温泉郷)

内容：

- | | |
|-------------|---|
| 9:00～9:10 | 開催挨拶 |
| 9:10～9:40 | 流砂理論と流砂観測(講師：京都大学・藤田正治教授) |
| 9:40～10:20 | 濁度計とTDR浮遊砂濃度計(講師：京都大学・宮田秀介准教授) |
| 10:20～10:30 | 休憩 |
| 10:30～11:00 | 音響センサーを用いた掃流砂観測(講師：国土技術政策総合研究所・泉山寛明主任研究官) |
| 11:00～12:00 | 流砂観測施設の見学と流砂観測 |
| 12:00～13:00 | 昼食 |
| 13:00～14:30 | 流砂観測データの解析研修(講師：国土技術政策総合研究所・泉山寛明主任研究官) |
| 14:30～16:00 | 高原川砂防施設の見学 |
| 16:00 | 解散 |

参加申し込み先：

下の申し込み先メールアドレスまでご連絡ください。準備の都合上、申し込み期限を11月10日(水)とさせていただきます。応募多数の場合は、これまでの研修会への参加経験の有無や所属先などを勘案して主催者側で参加者を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

京都大学防砂研究所 穂高砂防観測所

宮田 秀介

E-mail: miyata.shusuke.2e@kyoto-u.ac.jp TEL: 0578-89-2154

費用：

参加費 無料

昼食代、保険料 実費(1000円程度)